

令和7年度 第1回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第1回学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和7年5月8日（木） 於 牛津高等学校会議室
開催時間 17:00～18:10
出席者数 委員11名 事務局3名 教育振興課1名 校内委員1名
出席者 <魅力強化委員>
長戸委員、高元委員、西岡委員、横尾委員、川内委員、大坪委員
樋口委員、ドジソン委員、嘉村委員、山本委員、戸上委員（校長）
<事務局>
石丸（教頭）、古川（事務長）、池田（主幹教諭）
<校内委員>
小副川（魅力化コーディネーター）
<教育振興課>
石橋指導主事

【会議の内容】

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 教育委員会事務局挨拶
- 4 参加者自己紹介
- 5 協議

（1） 会長・副会長の選出（教頭）

委員から、会長に長戸委員を推薦する提案があり、承認される。副会長は長戸会長から高元委員が指名され承認される。この後、長戸会長が議長として進行を交代する。

（ア）佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱の報酬の額が変更になったことを（主幹教諭）から説明。

（イ）牛津高校学校魅力強化委員会の3つの部会について（主幹教諭）から説明。

3つの部会（地域連携部会・魅力発信部会・学校評価部会）を設置するが、昨年度と同じく、部会は開催せずに、学校魅力強化委員会の中で部会の協議を行うことを了承。

（2） 学校評価計画（案）について

学校評価計画について、項目ごとに取組内容、成果指標、具体的取組について（主幹教諭）から説明

特に意見や質問はなく、令和7年度の学校評価計画は原案どおり承認される。

(3) 令和7年度 SAGA唯一無二の学校魅力化促進事業について

令和7年度事業実施計画、年間の事業計画について（主幹教諭）から説明

(委員1) 事業内容の県外募集（県境対策）と全国募集の違いは何か。

(主幹教諭) 県外募集は、通学可能な地域からの生徒募集で、全国募集は、通学できない地域から下宿等で小城市にきてもらう場合と考えている。

(委員2) 下宿をすればその生徒は全国募集になるのか。

(主幹教諭) 下宿をする県外生徒は全国募集になる。

(委員2) 県外募集は以前からやっていたので、これまでの継続、全国募集は新しい取り組みという認識でいいのか。

(主幹教諭) その認識である

(委員2) 全国募集は新しい取り組みなので、今後どのような道筋でやっていくのか気になる。下宿先の確保はいつまでにやるのか、説明会をいつ開くのか等、分かっている範囲で説明してもらいたい。

(主幹教諭) 住まいの確保については、今年度のうちに下宿やアパートを4名から5名分確保し、来年度の募集活動の際に案内をしたと考えている。今年度の早い時期に確保することで、小城市との生活支援金等の予算立ての交渉もできている。また、県外生向けのオープンスクールや説明会も早い時期に行っていきたいと考えている。

(委員2) 県外の方は牛津に来るのが大変、長崎や福岡などはすぐに来れるが、その他はオンラインの説明会ということも取り入れるなどした方が良いのでは。

(主幹教諭) 有田工業高校や唐津青翔高校などは、夏休みに県外生向けの体験入学を実施されている。そこに家族と一緒に参加し、学校の見学だけでなく、町の見学なども行っている。本校も、それを見習っていきたい。

(委員2) 小城市と連携できれば、観光地巡りなどもできていいと思う。

(委員2) 今年度のうちに募集ができる状態を作ってしまう、来年度からは募集活動を始めるということか。

(主幹教諭) 来年度4月になったらすぐに募集活動が始められるようにしたい。

(委員1) このエリア内には西九州大学の学生がどれくらい下宿しているか。高大連携で下宿のシェアなどの例はないのか。

(主幹教諭) 西九州大学看護学部の方に尋ねたところ、小城市内のアパートとかに住んでいる学生はいるが、学生全体に占める割合は少ないようだ。小城市以外の佐賀市や福岡から通学している学生が多い。さらに、2年生や4年生は実習があり小城キャンパスにいないことが多いようだ。

(委員3) 下宿募集のチラシを配布されているそうだが、3食または2食付きとあり、留学生のホームステイによく似ているが、お金（料金）とは発生するのか。

(主幹教諭) 唐津青翔高校の場合、下宿の相場は食費込みで7万円から10万円ある。保護者と下宿オーナーとの話し合いで金額を決めている。さらに、玄海町から月3万円の生活支援金が支給されている。

(主幹教諭) 昨日チラシを見た方から問い合わせがあり、所有している借家があり、そこをシェアハウスのような形で提供できるという内容だった。

(委員2) シェアハウスをやっているところも県内ではあったと思う。有田工業高校がやって

いる。

(主幹教諭) 有田工業の場合は食事の提供もあるようだ。全国で見ればシェアハウスをやっている高校は多数あるようだ。

(委員 2) カリキュラムの磨き上げのところでは、学校外に出ていく活動が増えるのか。

(主幹教諭) 学校外で活動するものがあるが、起業家入門Ⅰのように学校に講師の方を招いて校内で行う活動もある。

(委員 1) 今年度の起業家入門Ⅰは、7月18日の終業式の午後から7月31日にかけて行う。31日には発表会を計画しており、外部審査委員として魅力強化委員の方に審査をお願いしたいと考えている。今年は小城市に特化したテーマで取組を行うのでよろしくをお願いしたい。

令和7年度事業実施計画、年間の事業計画について原案のとおり承認される。

(4) その他

(委員 4) 牛津を英訳するとオックスフォードになる。これを生かした「オックスフォードハイスクール」という名称を使って学校をアピールしてもよいのではないか。それと、牛津高校を題材にして作られたソフトボーイという映画を使って宣伝してもいいのではないか。これらを積極的に使ってみたらどうか。

(委員 4) 服飾デザイン科はファッションショーなどを行っていることもあり、美容や髪ネイルなどに特化した学科にしたらもっと注目されるのではないか。高校では国家資格は取れないと思うが思い切って取り入れたらどうか。

(委員 2) 法律的には、脱毛とかは医療行為なので難しいと思うが、デザイン科なので幅広くやってもいいのではないか。魅力的なカリキュラムをポイント的に入れることで、生徒募集につながるのではと思う。進路選択の幅も広がる。講師の確保とかが大変と思うが

(委員 4) 教育委員会がどういわれるか

(委員 2) 権利関係が大変なのか、最近ソフトボーイは放映されていないが

(校 長) この学校に来てソフトボーイのことを知って、1年生の講話の時に聞いたところ、1割くらいしか知らなかった。そこで、全校生徒に見せたいと考えて、東映に問い合わせをしたが、よくわからないという回答で、止まっている状態。

(委員 2) 著作権上は教育向けの利用場合は多分大丈夫だと思うが、肖像権の方が問題になる気がする。承諾をとっていた方がもめないと思う

(校 長) 先日、PTA役員会でも聞いたが、1割くらいしか知らなかった。

(委員 2) オックスフォードは英訳なの全然使うのは問題ないと思う。

(委員 3) 学科名をビューティーデザインとかにしてビューティーを入れたどうか。メイクとか美容関係になったら、高卒以上じゃないと免許が取れなし、美容と美容でも違うが。

(校 長) 服飾を学んでから。その後、専門学校で美容系を学ぶと、トータルでコーディネーターやアドバイスができるようになるので、美容系希望の生徒は本校で学んでほしい。生活経営科も保育というイメージを植え付けているが、保育だけでなく、実際、

今年小学校教諭として就職した卒業生もいるので、小学校教諭も含めて。本校を選ぶという選択肢を提示し、広い範囲で募集活動ができればと思っている。

(校 長) 募集活動に関連して、本校のトイレについて調べたところ、和式の方が多い。私立などはどれもきれいなトイレがあり、トイレが高校選択の一つの条件になっている。

(委員 4) 今の子たちは和式トイレの経験がない世代だから。

(委員 3) 和式トイレは、今なかなか無いです。牛津高校のトイレは階段を下りたところに暖簾が下がってるだけっていうのがちょっとどうか、外から結構見えている。特に女子が多めの高校なので、トイレを一番に行って思っしてほしいと思う。

(委員 4) 男子が少ないし、男子の方が切実な問題かも。体育館横のトイレも外から見えるので改良が必要だ。

(委員 2) 確かに重要だと思う。意外とトイレよくしたら志願者が増えたりする。

(委員 5) 大学でもパウダールームを設置すると評判が上がったりする。

(委員 2) 大学生は、化粧するところが高校生と違うが、結構大事な意見だ。

(委員 6) 高校生の頃は、洋式が空くまで並んで待っていた。和式でする人はあまりいなかった。

(委員 2) トイレ問題は、重要でかつ急ぎの問題かもしれない。

6 閉会

諸連絡で、第2回の魅力強化委員会は7月中旬に予定している。今後、日程調整のための連絡を行う連絡があった。